

### 実施状況

開催日時：令和2年9月15日(火)14:00～16:00  
 開催場所：山形河川国道事務所 2階大会議室（WEB会議）  
 出席者：国・県・市町村・(株)東北電力・土地改良区  
 流域の50機関が参加(欠席7機関)



### 主な意見等

- 山形県知事：冒頭挨拶
  - ・最上川本川において堤防が無い区間や堤防が低い区間などで浸水被害が発生。
  - ・これを受け、政府に対して緊急要望を行い、国土交通省副大臣より、しっかりと取組むという力強い回答を頂いたところ。
  - ・最上川流域治水協議会は、流域全体の総合的な対策を取りまとめるための貴重な検討の場になるものと大変期待しております。
  - ・皆様と連携しながら今後の治水対策をしっかりと推し進めて参りたい。
- 山辺町（町長）
  - ・須川の河道掘削のおかげで被害が軽減。
  - ・排水ポンプ車の空きが無かった。排水ポンプ車支援のあり方。
- 河北町（町長）
  - ・最上川、支川、農業用水路からの浸水が各地で発生。
  - ・内水・排水処理について排水ポンプ車の運用を含め明確に位置付ける必要がある。
- 金山町（町長）
  - ・支障木、河道内土砂については、まだまだ課題がある。
- 舟形町（町長）
  - ・ホットラインの情報により避難を実施。
  - ・指定避難所へ向かう堀内橋が通れなくなる恐れ。防災計画の見直しを検討。
- 鮭川村（村長）
  - ・事前放流に期待。事前防災の観点から支障木撤去、河道内掘削を推進。
- 戸沢村（村長）
  - ・ホットラインの情報を受け事前に村役場の垂直避難を実施。
  - ・村長自ら防災無線で住民へ避難を呼びかけ避難を誘導。
  - ・最上川と鮭川が同時に増水した場合の対応に課題がある。
- 川西町（町長）
  - ・県河川で実施した支障木撤去、河道内土砂撤去により流下能力が向上。
  - ・流域全体を対象とした排水ポンプ車の運用検討が必要。
- 三川町（町長）
  - ・想定を超える雨量に対して、流下能力の向上、事前放流、情報共有は重要。
- 庄内町（町長）
  - ・支障木撤去、河道内掘削による流下能力の向上を推進。
- 南陽市（市長）
  - ・避難勧告・避難指示を一本化した場合、こまめな情報発信が可能か不安。
- 村山市
  - ・避難しない住民に対し如何にして防災意識を持ってもらえるか課題。
  - ・災害弱者に対するスマートフォン活用、福祉課との連携など検討。
- 中山町
  - ・住民避難に対してホットラインの情報を有効に活用。
  - ・国より土嚢作成に必要な土砂を早急に提供して頂いた。
- 石より土嚢作成に必要な土砂を早急に提供して頂いた。
  - ・三川町における総合的な治水対策、地域防災計画の見直しが必要。
  - ・町の技術職員が不足するなかTEC-FORCEの派遣を頂き大変感謝。
- 大江町
  - ・百目木の住民意識に変化が見られるが合意形成には時間を要する。

### 議事内容

- (1) 令和2年7月27～29日出水概要
- (2) 令和2年7月豪雨における被害の概要
- (3) 各自治体から出水時対応の意見交換
- (4) 気候変動を踏まえた「流域治水」への転換について
- (5) 最上川流域治水協議会規約の確認
- (6) 協議会での検討事項と今後の進め方
- (7) 最上川流域治水プロジェクト中間とりまとめ

## 第2回 最上川流域治水協議会 開催状況

### 実施状況

開催日時：令和3年1月27日(水)13:00～14:15  
開催場所：山形河川国道事務所 2階大会議室（WEB会議）  
出席者：国・県・市町村・(株)東北電力・土地改良区  
流域の55機関が参加(欠席6機関)



### 議事内容

- (1) 最上川流域治水協議会規約の改定（案）
- (2) 流域治水プロジェクト策定・公表までの流れ
- (3) 緊急治水プロジェクトについて
- (4) 流域治水プロジェクト（検討状況）について
- (5) 流域治水プロジェクト公表に向けたスケジュール

### 主な意見等

- 大江町（町長）
  - ・7月豪雨では百目木地区を中心に大きな被害があり復旧に向けて頑張っているところ。
  - ・ハード的な部分だけではなくホットライン等情報提供についてもお礼申し上げたい。
  - ・プロジェクトは大変ありがたい話。是非進めていただきたい。
  - ・流域全体に大きな目で計画を進めていかなければならないと感じている。
  - ・地元の声としても、災害を防げるような堤防整備を非常に強く望んでおり、応急的な河川の掘削等もお願いしたいと声が届いている。
  - ・単純な堤防整備では、地域との調整の中で、難しいところもあるので、是非地元との話し合いを密に、様々なイメージを描きながらお願いしたい。
- 河北町（町長）
  - ・7月豪雨では大きな災害を受け様々な御支援ありがとうございました。
  - ・地域の要望が強い、押切、溝辺地区の堤防整備をプロジェクトに明記して頂いたことに感謝を申し上げる。
  - ・早期事業化の予算確保、財源確保に向け引き続きの御理解・御支援、国・県・町連携・連動し、地域の理解と協力を得ながら対策に取り組んで参りたい。
- 村山市（市長）
  - ・地区民も心配しており、なるべく早くこの朗報を伝えたい。
  - ・分水路整備で課題としてあった下流への影響について、うまくいくよう計画を調整して頂きたい。
- 大石田町（町長）
  - ・大淀地区分水路に関して、上流部が整備されると下流部での心配があるので、しっかりと順序を立て進めて頂きたい。
- 大蔵村（村長）
  - ・7月豪雨では国・県からの支援・協力・指導を賜り厚くお礼を申し上げます。
  - ・復旧の残りは大規模な被害を受けた公共土木施設のみとなっている。
  - ・今回ほど堤防の必要性、丈夫さ高さを感じたことはない。
  - ・早速、白須賀地区への堤防整備と河道掘削の対応に感謝申し上げます。
  - ・この地区の堤防は暫定堤であるため、一日も早い嵩上げをお願いしたい。
- 川西町（町長）
  - ・一昨年、昨年と同じような箇所が浸水被害を受けている。
  - ・平成25・26年の豪雨災害を受け河川改修を行った吉野川の流速が早くなり、最上本川への到達時間が短くなっている。
  - ・流域全体の流下能力を考えると、一つがよくなれば次がどうなのかというのが常に付きまとい流域治水プロジェクトの難しさを痛感している。
  - ・ほ場整備を賢明に進めているが排水能力が良くなった反面、雨が降ると一気に排水され、準用河川での浸水被害が多く発生している。
  - ・農地が持つ保水能力を含めた流域全体の農業・山林分野も含めた治水対策、ほ場整備のあり方といったことも研究していかなければならない。

# 最上川流域治水協議会幹事会 上流部会、中流部会、下流部会 議事概要

< (第2回)上流部会 > 日時:2月15日(月)13:30~14:30 場所:山形河川国道事務所(WEB会議方式)

## ○会議次第

- (1)流域治水プロジェクト(案)について (2)最上川流域治水宣言(案)について (3)流域治水関係施策リスト(案)について  
(4)意見照会結果について (5)流域治水プロジェクト公表に向けたスケジュール

## ○会議内容

会議次第(1)(2)(3)について

事務局:内容について説明。出席者:意見等なし。

(4)について

出席者:

- ・雪捨場の多くは河川敷で、校庭や運動場、公園等の施設を雪捨場としている例は少ないのではないか。
- ・現実的に、排雪には土砂のほか、時にはゴミなども含まれるため校庭等の施設に捨てるのはすぐわないのではないか。
- ・防雪柵は間隔があるので、止水機能の効果は限定的ではないか。
- ・流域対策(東北独自)案について適用・該当するものがない、今後進めていくなかで、新たな流域対策案などを考えていけたらよい。
- ・農業用施設を活用した流出抑制対策は、関係団体との調整が必要となるが、有効である。
- ・田んぼがもつ貯留機能を活用することは、農家のほか関係団体に対して丁寧に説明する必要があるが、有効である。
- ・森林保全等治山対策による流出抑制や流木対策を図ることは、流木の流出対策において有効である。
- ・災害リスクを考慮した「立地適正化計画」の作成について、作成の可否について検討していく。
- ・防風林(屋敷林)、防雪柵整備は、集積された住宅地が形成されているため、なじまない。
- ・克雪対策による住宅高床式に加え、水害対策として補助制度を設定することは有効と考えるが、国・県の財源措置・支援を望む。

Q:流域治水プロジェクト公表後に新たな対策を追加もしくは修正した場合、その時期や方法について

事務局:

- ・年度初めに事務局から構成機関へ流域治水プロジェクト内容の追加、修正についての照会依頼を行うことで考えている。
- ・該当機関があった場合には、協議会を開催し、内容の更新をしていきたい。
- ・実施状況の報告に関しては、減災協議会に関する取り組みについては、引き続き減災協議会でフォローアップを行っていく。
- ・流域治水協議会においても規約に基づき、進捗状況の報告を頂き、協議会として共有していきたいと考えている。

(5)について

出席者:

- ・今後、防災協議会及び議会にて、取組内容について確認、検討したうえで最終修正を整え、2月末を目途に協議会へ提示したい。



(WEB会議での開催状況)

# 「第3回 最上川流域治水協議会幹事会 中流部会」の概要

令和3年2月17日(水)開催

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、WEB会議で実施

## 「最上川流域治水プロジェクト策定」へ向けた減災対策の取り組み内容を確認

### ● 概要

以下の議題で中流部会を開催

- ①流域治水プロジェクト(案)について
- ②最上川流域治水宣言(案)について
- ③流域治水関係政策リスト(案)について
- ④流域治水プロジェクト公表に向けたスケジュール



新庄河川事務所 事務局



(WEB会議での開催状況)

各項目において説明を行い、「最上川水系流域治水プロジェクト」公表に向けた内容を確認

- ①流域治水プロジェクト(案)について
  - ・前回の中流部会以降の修正点を説明
  - ・取り組み内容の追加・修正等の意見・質問を再度収集する
- ②最上川流域治水宣言(案)について
  - ・プロジェクト公表時における治水宣言の公表を確認
- ③流域治水関係政策リスト(案)について
  - ・各省庁及び国土交通省が奨める「事業・施策・制度」について資料提供
  - ・各機関においてメニューに追加可能か検討
- ④流域治水プロジェクト公表に向けたスケジュール
  - ・「最上川水系流域治水プロジェクト」の公表については3月末で進めることを確認

### ● 議事内容

### 【構成員】

新庄市 尾花沢市  
 大石田町 金山町  
 最上町 舟形町  
 真室川町 大蔵村  
 鮭川村 戸沢村  
 最上広域市町村圏事務組合  
 山形県 危機管理・くらし安心部 防災危機管理課  
 農林水産部 農村整備課、森林ノミクス推進課  
 県土整備部 都市計画課、建築住宅課  
 下水道課、河川課、砂防・災害対策課  
 村山総合支庁 総務企画部 総務課防災安全室  
 村山総合支庁 建設部 北村山河川砂防課  
 最上総合支庁 総務企画部 総務課防災安全室  
 最上総合支庁 建設部 河川砂防課、高坂ダム管理課  
 東北農政局 西奥羽土地改良調査管理事務所 最上川支所、村山北部支所  
 林野庁東北森林管理局 山形森林管理署  
 (独)森林研究・整備機構森林整備センター 東北北海道整備局 山形水源林整備事務所  
 気象庁 山形地方气象台  
 東北地方整備局 新庄河川事務所

### ● 中流部会構成

< (第2回)下流部会 > 日時:2月16日(火)書面開催

○意見内容

- ・防災指針を立地適正化計画、次回見直し時に位置づけるように検討中。
- ・居住誘導区域は、土地利用や歴史文化を考慮して区域を設定しているため、誘導区域の変更については今のところ考えていない。
- ・イエローゾーンに含まれる区域については、防災指針によるソフト対策を検討。
- ・雪捨場は、主に国・県管理の河川敷を占有している状況。
- ・財政的な支援が有れば、校庭等の整備による貯留機能増強は可能と考えられるが有効性は限定的なものと思われる。
- ・浸水想定区域と防雪柵の整備箇所のすり合わせが必要。
- ・防雪柵整備予定箇所で浸水想定区域が重なる箇所はない。
- ・重要物流道路や緊急輸送道路となっている区間は、既に市街化が進んでおり、かさ上げは現実的には厳しい。
- ・該当する路線は延長がわずか、大部分を占める国・県の管理道路の整備が出来なければ有効性は低い。
- ・防雪柵の切れ目や道路交差部など連続性が保てない箇所の対応が必要。
- ・田んぼダム状態になることの耕作者の理解と、そのための補償。